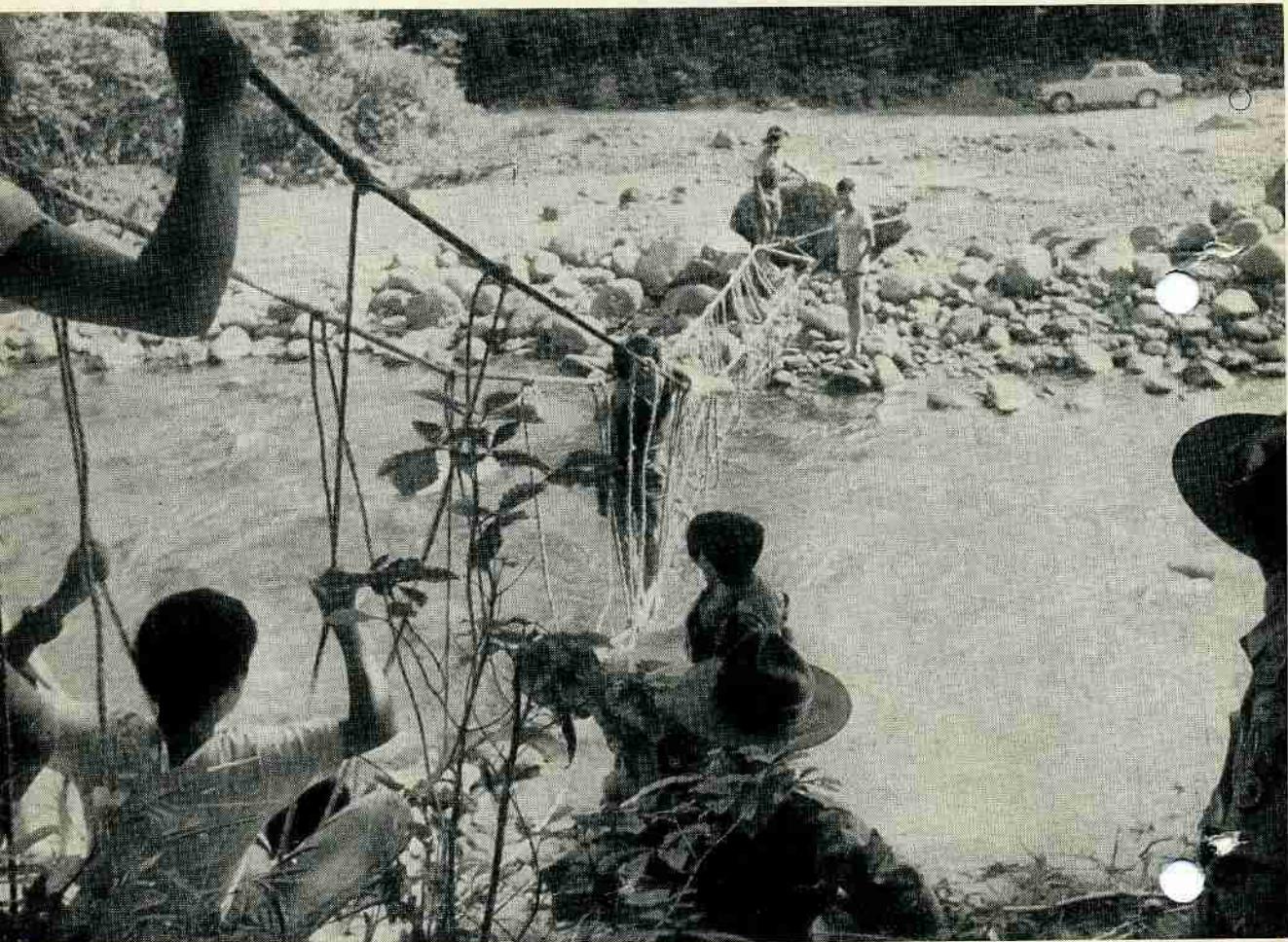


広報

# のぼりべつ



## 暑さのなか モンキーブリッジで特訓

こどもは夏休みに、出された宿題をやってなんとなく、その大半を過ごしてしまいます。しかし勉強も大切ですが、野外活動を通じて健全な精神と強い体力づくりこそ夏休みにしかできないことではないでしょうか。

日本ボーイスカウト登別第1団をひきいる休場隊長を先頭に12名の隊員は、富士山ろくでおこなわれた世界ジャンボリーへ1名の隊員を送ったあと、来馬川上流に本部をおいて2班にわけてキャンプを張りました。

この日は、テントの張る技術やマナーなどのほか、ロープの結びかたを教えてもらったあと、実際にロープの橋をつくり、渡る訓練をたのしようにうけながら、夏の日を過ごしていました。

8

月号

1971

No. 142

# ことしの市道舗装3,010m



## 鶴別からカルルスまで15路線

わたしたちの生活のなかで、一番身近に感じることは衛生、水道、道路といえるでしょう。そこで今月は道路舗装について変更された道路五カ年計画がどのように進められていくのか、のぞいてみましょう。

### 生活に密着した 道路とは

わたしたちの生活は経済の高度成長によって所得がふえ衣・食などの、身近な欲求には不自由することではなくなってきました。しかし、それによっての所得較差や社会問題となっている物価高のあることは見のがせませんが、その問題は別にしておいても、住宅はロ

ーン、退職金、積立金などで、それぞれ多くの人たちには、マイホームをもつようになるでしょう。わたしたち人間は、それだけで満足するでしょうが、犬や猫のように食・住だけで一生を終つてしまいとはいえないでしょう。

そこで人間としての生活、すなわち快適な住いができるようになるにはどうすればいいのでしょうか。

一九七〇年代の国民生活の課題はなんといっても、生活環境をよくすることといわれていますが、そのなかで道路は、わたしたちにとってもっと身近な問題であることがわかります。

それでは自分の家の前に道路がついているから、それで快適な住まいができるといえるだ。  
つか。せいど、曲りくねった道路、で

こぼこの道路、行きどまりの道路などいろいろな道路があるでしょうが、しかし、雨が降ったり、砂

震、火災が発生したときなどは、

これらの道路が道路としての機能を充分にはたせるか疑問になるで

しょう。

また、交通機関の発達もみのがせないものがあります。営業に自家用にと自動車の普及も著しく、

わたしたちの生活のすみずみまで車が入りこんでいます。

このように、いまや道路のはたず役割は、昔のように国防上の必要性からつくられたものでなく、

わたしたち日常生活の営みにとって、もつとも大切なものとなっています。つまり人体に例えますと

動脈と毛細管にわけられるでしょう。その動脈とは産業の発展をもたらす基幹道路（都市計画街路）

と毛細管は市内のすみすみまで血をかよわせる生活道路といえるでしょう。

### 市道は

#### 縦横に一九一本

ここで市道がどのようになつているか説明しておきましょう。

市の面積は二三平方キロあります。このなかに五つの市街地と数多くの集落がちらばっています。

このため、その市街地や集落を結ぶ道路が一九一本の市道として縦横に走っていますが、その延長は

樽をこえる距離になつています。

このため維持管理は容易なものではありません。大雨や積雪のたびに破損するところも多く、常に

度までに延長を二九筋、率にして一八筋とする計画に変更しました

#### ことしの舗装は

##### 一五路線

舗装については、広報七月号、予算の内容のところで、すこしふれましたが、ことしは一五路線を四千万円の予算で舗装しま

す。

ここで一五路線の内容をくわしく説明します。

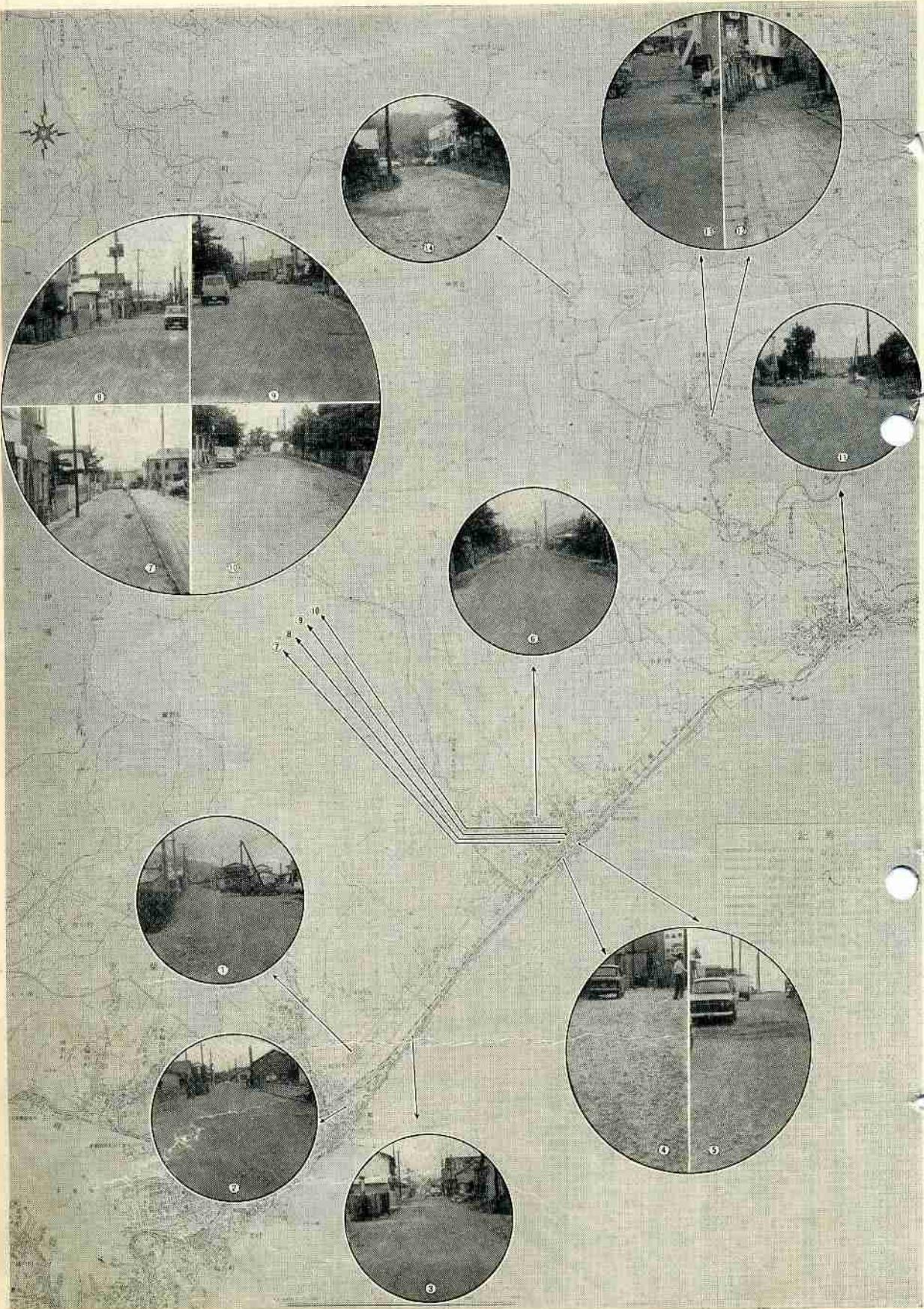
鶴別町は、といちフードセンタ横の道路（中之通り）を二〇〇筋（②）、上鶴別町は、室蘭自動車学校前道路（鶴別学園線）を、三〇〇筋（①）、富岸町は、新町中央通りと富岸新町通りを二五四筋（③）、来馬町は、大英寺前道路（来馬西線）を四〇〇筋（⑥）消防署前道路（学校横通り）を、三六五筋（⑩）、幌別町は、法華寺横道路（白川通り）を一六三筋（⑦）、山岸商店横道路（浜通り二号線）を一〇筋（⑤）、佐藤くたもの店横道路（浜通り四号線）を一〇〇筋（④）、

登別町は、登別支所前道路（登別一號）、宮武歯科前道路（弥生通り）を一六三筋（⑨）、双葉助産所前道路（住吉通り）を一〇〇筋（①）、幌別温泉町は、日活ホテル前道路（中央線）を九〇筋（⑫）、バラダイス裏道路（祇園線）を九〇筋（⑭）、カルルス町は、日野宅前道

路（東雲線）を一〇〇筋（⑮）、

来年から建設として、四十九年

(3)





## どうする！ 老人の幸せを高めるには

司会者 多田 弘(社協理事)

説明者 和田弥平治(社協副会長)

助言者 能登 利勝(胆振支庁老人福祉指導員)

出席者 35名

市社会福祉協議会が主催する社会福祉大会が、七月二十七日、中央公民館でおこなわれました。

この大会の目的は、はげしく変動する社会情勢のなかで、社会福祉という分野に山積みしているいろいろの問題を改善していくことと市の社会福祉のしごとにたずさわるかたがたや、いろいろの団体から一四〇名が集まって、三つの部会にそれぞれのテーマをだして研究協議をおこないました。

この部会のなかで、第二部会の「老人のしあわせを高めるにはどうしたらよいか」というテーマの協議内容を紹介します。

司会者 みなさん、忙しいところ集つていただきありがとうございます。

さて、第二部会は「老人の幸せを高めるにはどうしたらよいか」というテーマですが、討議するまえに、市内の老人がどのような状態であるか説明していただきます。

関係者150名が集まった市社会福祉大会

説明者 いま市内に住んでいます、六五歳以上の老人は一、七二〇名おりますが、老人世帯だけでは、

二四二世帯となっています。また、生活保護を受けている世帯が七七世帯、このなかで独居老人世帯一人で生活している老人)

は三八世帯となっていますが、この七七世帯は、全生活保護世帯の四分の一を占めているのが現状です。

司会者 いまの説明でだいたいことは、理解できたと思いますが、独居老人についてなにか意見はないでしょうか。

A氏 独居老人になってみないとその気持は理解しにくくと思いますが、老人を一つの施設に集める方法としては、国が老人福祉施設をたくさんつくことだと思いますね。

B氏 わたしは九州へ旅行したとき、ある老人が『登別は有名な温泉であるし、老人の保養地として老人ホームもないのが残念でした。

C氏 そうですね。またつけくわくない老人があふえていると聞きましたが、そのためにも、室蘭や伊達にあるくらいだから、ないのがおかしいと思いますよ。

助言者 もっともなことですがあしかし、そのような老人を施設に

入るようすすめてきましたが、なかなか入りたがらない実態なのです。

D氏 全部の老人ではないと思いまが、こどもと同居したくないという老人がふえているのは、理解できませんね。

助言者 原因としては都市の過密部の過疎などの影響と、こどもの転勤によって、住居がせまく同じ

居しにくいことがありますね。また、施設に入りたがらない理由は、家名がなくなることに抵抗があるらしいので非常にむずかしい問題がありますね。しかし、わたしたちはできるだけ入りなさい

というより、そのような施設を見学せるようにしています。そこでホームヘルパーの意見を聞いてみたいと思いますが。

ホームヘルパー わたしたちは、定期的におとしよりたちをお世話をしていますが、話をしているうちに、どうして一人で生活しなければならないのか疑問に感じること

があります。しかし、老人ホームなどの施設に入りなさいなどといふことですね、ですから老人年金の支給されている人だけに限らながる問題としてたいへんあります。しかし、新聞やテレビによると所得に制限があるといふことですね、ですから老人年金の支給されている人だけに限られるということは不公平です。全部の老人が受けられないものでしょうか。

B氏 この問題は、各地で話題になっていますが、老人の幸せにならながる問題としてたいへんあります。しかし、新聞やテレビによると所得に制限があることですね。

助言者 いろいろな意見があると思いますが、しかし、道の方針が第一段階として、老齢年金受給者をまず医療無料化にして、将来は全部の老人を対象にしていく考え

老人の幸せを考え熱心な討議をおこなっていました



司会者 いろいろ意見がでました

が最後に、その地域のかたたちが地域の老人たちを精神的な面からみんなであたたかく、お世話を

あがましよう。



# おとしよりを大切に

## いつかはわたしたちも

9月  
15日 敬老の日

国民の祝日に「敬老の日」が制定されてから六年目になります。

とくにこの日は、永いあいだ社会のためにつくされた「おとしより」に、わたしたちは常に敬愛の念をもち、幸せな余生を送ること

ができるように努めなければならぬと思います。

日本人の平均寿命は毎年のびており、男では六九・二歳、女では七四・七歳となっていますが、しかし、わたしたちの周囲をみると、おとしよりが毎日の生活を安心して暮せるような、環境にあるとは思えません。長寿と幸せはかならずしも一致しないのが現実の姿のようです。

わたしたちのなかには、おとしよりの功績や恩情への大切な感謝を忘れてはいないでしょう。家庭内の老人のささやかな願いも抱むことのないよう、お互に相手の立場を尊重し、すんで温かく楽しい雰囲気のなかに抱いていくことが大切でしょう。

また、おとしよりのかたも社会の現実をよく知り、いたずらに周囲に甘えたりすることのないよう社会の一員として、若い人達の欲求をじゅうぶん理解してあげ、みなさんが愛されるおとしよりになりました。

### 敬老の日

二千円をプレゼント



## 消費生活改善監視員に 藤江みどりさん

通産省から、藤江みどりさん  
が消費生活改善監視員として、

委嘱発令になりました。

この消費生活改善監視員といふ仕事は消費者を保護するため、いろいろな意見や苦情を聞いて消費生活を改善していくこういふことです。これは、みんなのなかに、なまさんから愛されるおとしよりになりました。

「どうも、この食品は表示と違つているようだ」「一流メーカーの電気製品だが、マークがつ

(市内幌別町二四五番地  
農業協同組合横)

### 「おとしよりの福祉週間」

### 老年性白内障の かたに手術料を補助

△申請期限 九月五日まで  
△申請場所 市福祉事務所かお近くの各支所で申請してください。

### 敬老の日

△申請期限 九月五日まで  
△申請場所 市福祉事務所かお近くの各支所で申請してください。  
・地域ぐるみでおこなう、老人福祉運動や行事に協力しましょう

市や社会福祉協議会では「敬老の日」を祝い、一層、おとしよりの大目にしようと九月十五日から二十日まで「おとしよりの福祉週間」として、つきのこと協力してもらおうと呼びかけます。  
・家庭内ではお互いに話し合い、立場を理解しましょう。  
・老人をいたわり、温かく楽しい家庭をつくりましょう。  
・健康を保ち、時代感覚を身につけて、話せる老人になりますよ。

・家庭のなかで、老人にもできる  
こと

いていい」「また、医薬品などのいろいろな苦情が、日常生活のうえであることでしょう。

このような意見や苦情のあるかたは、どんな小さなことでも気軽に監視員にご相談ください。かたは、親身になってお世話をされます。

なお、みなさんのから相談については秘密を守ることになつており、その相談の費用は一切ありません。

# 納めてよかつたと喜ぶ

老金 第一号に 熊沢さん

年をとったときの楽しみにと、納め続けて十年、ついに登別市の

第一号となつた熊沢勇さん（市内鶴別町一八二番地）は、八月五日、年金額六〇、〇〇〇円の証書をうれしそうに高田市長から受けとりました。

いまから十年前の三十六年、国民年金がはじまつたときは、五十歳をこえ、五十五歳未満のかたが加入でき、それから十年保険料を納めた人に年金として、六〇、〇〇円が支給されますが、ことしもあと六名の該当者が、熊沢さん

に続いて受けることになつています。

第一号の年金証書を手にした熊沢さんは「当時 加入したもの納め続けていく自信がなかつたけれども、いま証書を手にしたらこの十年は長いようでも短いものですね。年金で孫に何か買つてあげますよ」と、喜びをかくしきれないと、いつまでも登別市民として健康に気をつけ、長生きしてください」と高田市長は祝福しました。

年金証書を受けとる熊沢さんはうれしさをかくしきれない。

第一号の年金証書

## もりだくさんの行事で

### 登別地獄まつり

8月27・28・29日



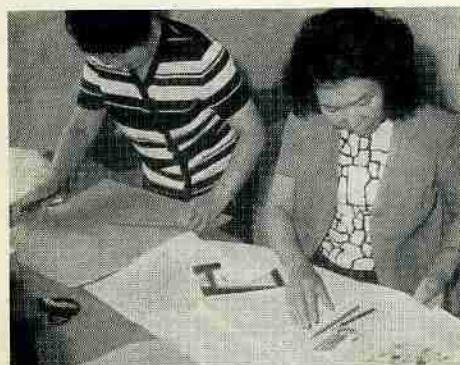
第八回、登別地獄まつりは、八月二十七日から三日間、登別温泉の景観を舞台に、もりだくさんの行事がはなやかにくりひろげられます。

登別の最大の行事であるこの地獄まつりを、みなさんにじゅうぶん楽しんでいただきたく、家族づれのお出かけをお待ちしております。また、この期間、車でお出か

- けのかたは、駐車場が限られておりますので、なるべくバスをご利用になってください。
- 三日間のおもな行事はつぎのとおりです。
- 二十七日（金）前夜祭
  - ・十六時、地獄まつり大パレード（メインストリート）
  - ・十六時三十分、地獄まつり開祭式（特設舞臺）
  - ・二十一時三十分、ジャンボ北海道踊り（特設舞臺）
  - ・二十二時、踊りと歌を贈る豊岡豊とスイングフェイス、ナイトショウ（特設舞臺）
  - ・二十三時、キッバーズショーとホットパンツコンテスト、団 次郎ヤングファッシュン教室（特設舞臺）
  - ・二十一時、チビッ子ゲーム大会（特設舞臺）
  - ・二十二時三十分、地獄まつり大パレード（メインストリート）
  - ・二十三時、チビッ子ゲーム大会（特設舞臺）
  - ・二十四時、太鼓一刃の「太鼓への挑戦」（特設舞臺）
  - ・二十九日（日）最終日
  - ・二十一時、鬼踊り大群舞（メインストリート）
  - ・二十二時三十分、スペシャルナイトショウ、「豊岡 豊とスイングフェイス」（特設舞臺）
  - ・二十三時、太鼓一刃の「太鼓への挑戦」（特設舞臺）
  - ・二十一時三十分、鬼踊り鳴物隊、前触れパレード（メインストリート）
  - ・二十二時、鬼踊り大群舞（メインストリート）
  - ・二十三時、全道ゴーゴー選手権大会（特設舞臺）
  - ・二十六時、歌謡ショーカン選手権大会（特設舞臺）
  - ・二十七時、北海太鼓まつり（全道七つの太鼓グルーブ）、特設舞臺
  - ・二十九時三十分、鬼踊り鳴物隊、（メインストリート）
  - ・二十時、鬼踊り大群舞（メインストリート）
  - ・二十二時、鬼踊り大群舞（メインストリート）
  - ・二十一時、ジャンボ北海道益踊りと豊岡 豊のサヨナラ公演（特設舞臺）
  - ・二十二時、鬼みこし炎上昇天（特設舞臺）
  - ・二十六時 歌謡ショーカン選手権大会（特設舞臺）
  - ・二十七時、北海太鼓まつり（道内七つの太鼓グルーブ）、特設舞臺
  - ・二十九時三十分、鬼踊り鳴物隊、前触れパレード（メインストリート）
  - ・二十時、鬼踊り大群舞（メインストリート）
  - ・二十一時、ジャンボ北海道益踊りと豊岡 豊のサヨナラ公演（特設舞臺）
  - ・二十二時、鬼みこし炎上昇天（特設舞臺）



## パネロンフラワーはいかがですか



どんな花をつくるかと考えるときも  
のしいものです。



講師の金森茂枝さんから「このようにして」とおしえられる



「先生！これでいいですか」「すばらしいできね」とどっと笑いがでる

### 市の人口

6月末現在

総 人 口	46,690 (163増)
男	23,558 (101増)
女	23,132 (62増)
世 帯 数	13,126 (133増)

( ) 内は先月との増減

### みんなで加入、楽しい生活

1ヵ月40円であなたを守る

市民交通  
傷害保険



### 今月の納税

- ◎固定資産税 (第2期)
- ◎個人事業税 (第1期)

8月31日までです。忘れずに納期内に納めましょう。



## おしらせ

### 免許更新時の講習会をおこないます

運転免許所有者でことし更新しなければならないかたは講習を受けてください。

この講習は年六回おこないますので都合のいい月に受けることができます。

九月の講習はつぎのとおりです

・日時 九月二十八日(火)  
午後六時から九時まで

・場所 中央公民館二階ホール  
なお、受講者は交通安全協会会員となりますので、三年間分、三〇〇円を納めさせていただきます。

ことしから戦没者招魂祭を一力所でおこないます

今まで各地区ごとにおこなつていました戦没者招魂祭を、ことしから一カ所でおこないます。

地区的招魂祭に通知のなかたや、まだ、遺族会に加入していないかたは九月五日まで市福祉事務所がよりの支所へ、早めに申しでるようにしてください。

・日時 九月二十日

### おかあさんと若い女性へ

#### 家庭看護講習会

この講習会は、家庭に病人ができるよう、日常すぐて、立ついるいろいろの衛生知識と、もし病

人がでたときには早く樂にしてあげるために病人看護の知識と技術を、だれもがすぐ体得できるよ

うで、おもしろく指導してくれま

す。いまでは婦人の常識のひとつとなっていますので、あなたの受講をおすすめします。

いまでは婦人の常識のひとつとなっていますので、あなたの受講をおすすめします。

「行方不明者相談所」を開きます

#### 開きます

森道子(来馬町) 一〇、〇〇〇円  
匿名(来馬町) 一、〇〇〇円  
匿名(幌別町) 五〇〇円  
幌別婦人会 五、〇〇〇円

上田商事(来馬町) 六〇〇枚  
中鉢きく(登別温泉町) 三、〇八〇枚  
幌別婦人会 五、〇〇〇円

小嶋利雄(来馬町) 一五〇枚  
登別温泉支所 七三〇枚  
(老人クラブ、富士の白雲会)  
矢吹商店(来馬町) 一  
フジ自動マッサージ機 一台  
(老人クラブ、登別老友高砂会)  
永森タナ(ドンブリ皿) 六〇個  
土筆会卓上ステレオ一台  
勝間ヨシマナ板一枚、庖丁一丁  
レコード二枚  
半沢良照外五名花ビンその他  
藤原フエヨ九一点  
佐藤ハルエ鉄ビン一個  
登別婦人会布キン三枚  
植木マチ板一枚  
鈴木ゲン植木  
坪島積外九名植木  
若田源次郎植木  
富森光雄植木  
松岡ナミ植木  
菊地マサ植木  
東川光昭植木  
紅白錦幕一層  
庭木マチ板一枚  
レコード三枚  
庭木洗い桶  
(老人クラブ、鷺舞会)  
ガスレンジ額一掛  
佐々木石次郎庭木七種類  
鷺舞婦人会庭木一本  
堀久雄庭木一本  
雨洗満シリップ立三脚

こそ寄付ありがとうございます

こそ寄付ありがとうございます

(愛情銀行へ)

コーエー・バー・ライ(来馬町)  
一、二七六円

林德治郎(来馬町) 二〇、〇〇〇円